

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立西の杜小学校（岩手県）

【取組内容①】 タブレットの活用 3年 総合的な学習「ぼくも わたしも 紫波町はかせ 町の魅力 広め隊」



紫波町は、昔から伝わるものを今でも大切に受け継いでいます。特に、志和稲荷神社では、300年余り前、水田の水不足でたびたび争いが起き、今でも志和稲荷神社耳のかけた像があるそうです。型染で有名な「小田中染工房」もあります。ぜひ行ってみてください。



1 題材

紫波町の特色について探求する活動を通して、様々な町の魅力に気づくとともにふるさとへの親しみを感じながら紫波町のよさをより多くの人に広めていく活動である。

2 タブレットの活用法

①まち探検をしながら、地域の魅力を一人一人のタブレットカメラで撮影する。

- ②持ち寄った写真を思考ツールで選択する。
- ③一人一人が考えたキャッチコピーや説明文を思考ツールで整理する。
- ④ポスターに表す。
- ⑤ポスターを使いながら、4年生に発表したり、役場に掲示したりする。

* グループ交流が活発になされた。